



成田国際空港密輸概況【平成 26 年】

覚醒剤密輸、依然として多発!!

- ・ 中国来覚醒剤の密輸が倍増
- ・ タイ人による密輸が激増

【トピックス】

◎不正薬物押収量が5年連続で200キロを超える

不正薬物の押収量は平成22年から5年連続で200キロを超え、その内、覚醒剤は約181キロと太宗を占めた。

◎中国来覚醒剤の摘発が倍増

中国（香港、マカオを含む）来覚醒剤密輸入事件の摘発が、36件と倍増（前年15件）し、全体の約4割を占めた。

◎タイ人による覚醒剤密輸入事件が激増

密輸実行者を国籍別にみると、タイ人によるものが20人と、前年（2人）から激増。

◎覚醒剤の体内隠匿が大幅に増加

隠匿手口別の摘発件数は、体内隠匿によるものが13件と、前年（3件）から大幅に増加。

◎高齢者による覚醒剤密輸入事件が増加

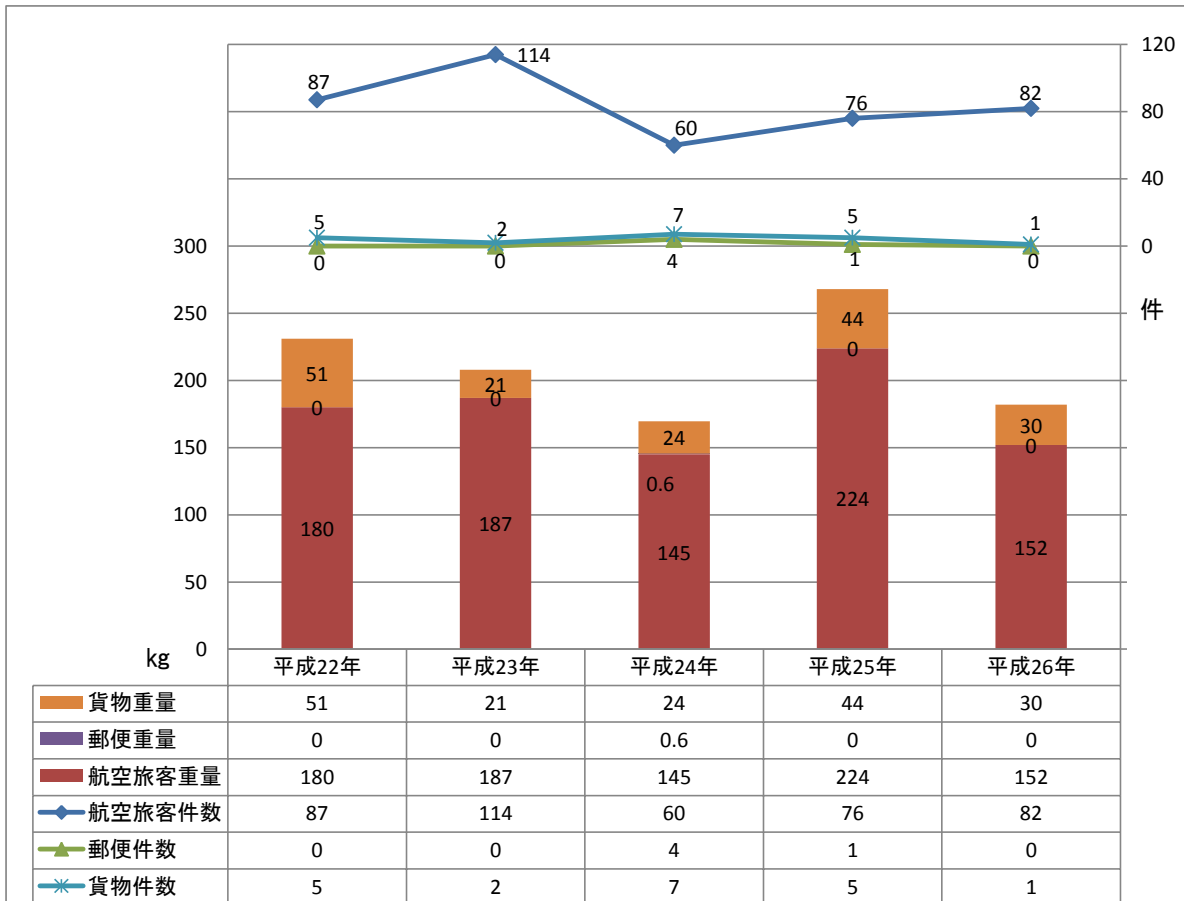
密輸実行者を年代別にみると、60歳以上の高齢者によるものが16人と、前年（11人）から増加し、全体の約2割を占めた。

1. 成田国際空港における密輸事犯摘発状況一覧表

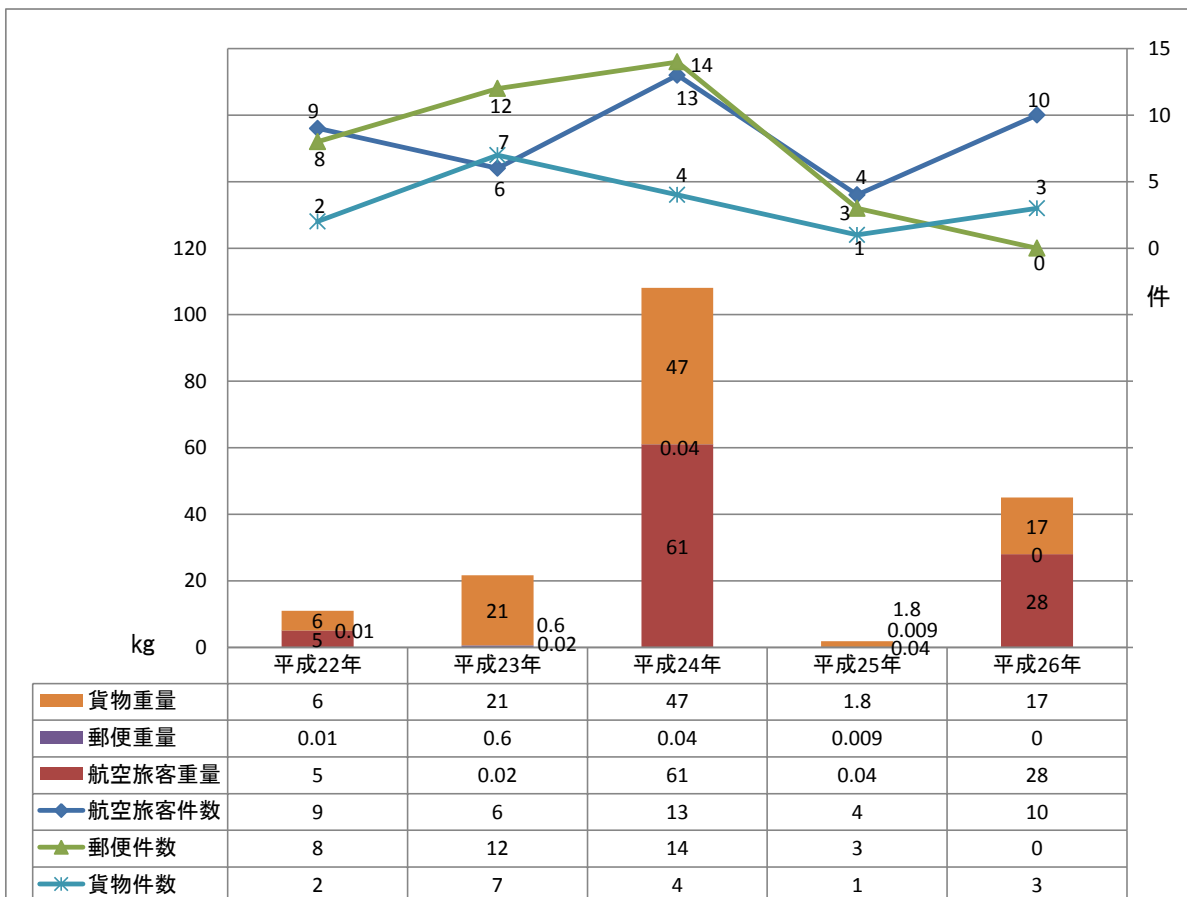
社会悪事犯		平成22年	平成23年	平成24年	平成25年	平成26年	
							前年比
覚醒剤	件数	92	116	71	82	83	101.2%
	数量(kg)	232	209	171	269	181	67.4%
	数量(千錠)	-	-	0	0	-	全減
大麻 (樹脂含む)	件数	19	25	31	8	13	162.5%
	数量(kg)	11	22	109	2	45	24倍
あへん	件数	1	1	0	1	0	全減
	数量(kg)	3	0	-	0	-	全減
麻薬	件数	7	8	13	66	5	7.6%
	数量(千点)	10	0	0	0	-	全減
	数量(kg)	6	28	1	1	2	143.1%
ヘロイン	件数	0	2	0	1	1	100.0%
	数量(kg)	0	1	-	1	0	0.0%
コカイン	件数	2	2	2	2	1	50.0%
	数量(kg)	1	24	1	0	2	586.1%
MDMA	件数	0	2	1	1	0	全減
	数量(千錠)	-	0	-	0	-	全減
	数量(kg)	-	2	0	-	0	全増
その他麻薬	件数	5	2	10	62	3	4.8%
	数量(千点)	10	0	0	-	-	-
	数量(kg)	4	1	0	0	0	7.3%
向精神薬	件数	0	1	7	0	0	-
	数量(千錠)	-	1	1	-	-	-
	数量(kg)	-	-	-	-	-	-
合計	件数	119	151	122	157	101	64.3%
	数量(kg)	252	260	281	272	228	83.7%
	数量(千点)	10	1	2	0	-	全減
銃砲類	件数	0	0	0	0	0	-
	数量(丁)	0	0	0	0	0	-
総摘発件数		119	151	122	157	101	64.3%

* 1. 1件の摘発で犯則物件が複数の場合は、件数は主たる事犯に、数量はそれぞれの欄に計上した。
 また、税関が摘発した密輸事件に係る押収量の他、警察等他機関が摘発した事件で税関が当該事件に関与したものに係る押収量を含む。
 2. 覚醒剤は、覚醒剤及び覚醒剤原料の合計数量を示す。
 3. MDMAは、MDMA及びMDA等の合成麻薬の合計数量を示す。
 4. 薬物の数量表記について、「0」とは500gまたは500錠未満の場合を示し、「-」とは全くない場合を示す。
 また、端数処理している為、比率や合計値が合わないことがある。

2. 形態別覚醒剤摘発状況(推移)

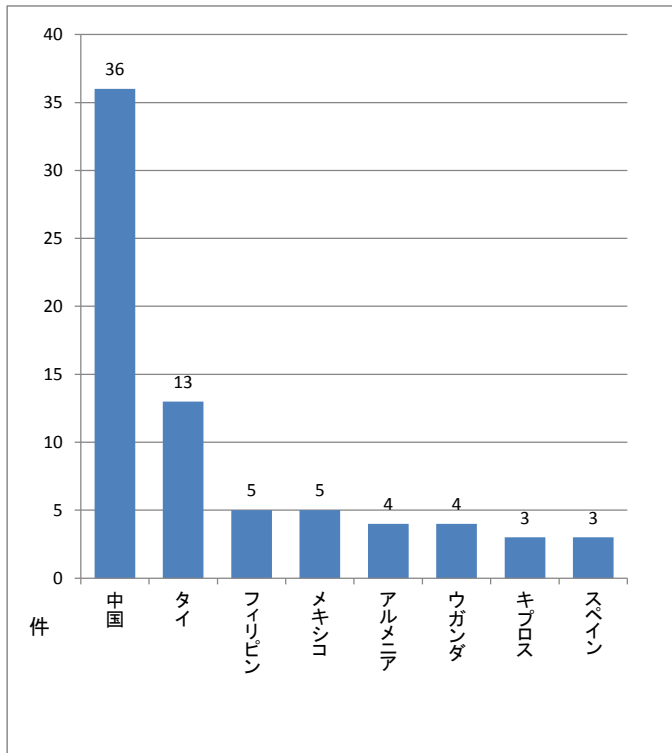


3. 形態別大麻摘発状況(大麻樹脂含む)



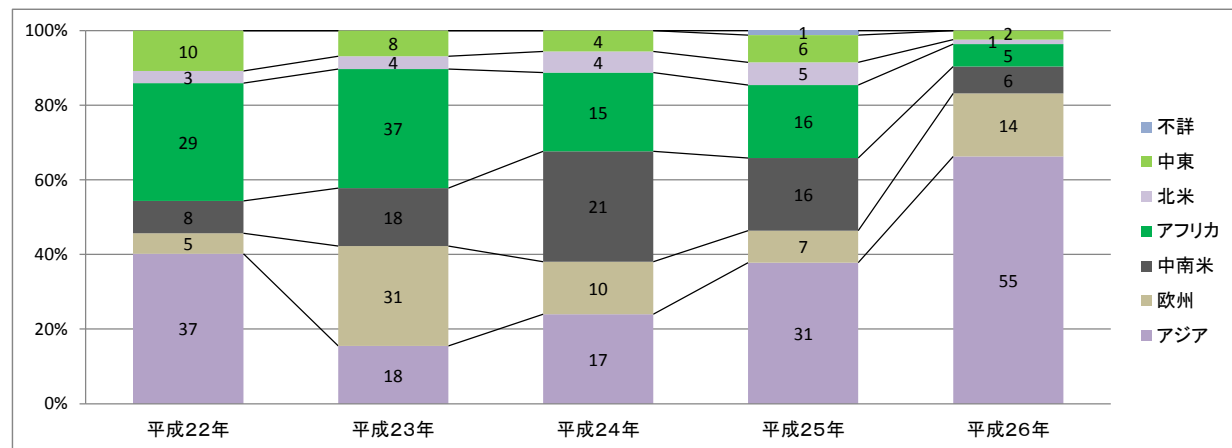
4. 覚醒剤の仕出別摘発状況

●平成26年仕出地別摘発上位

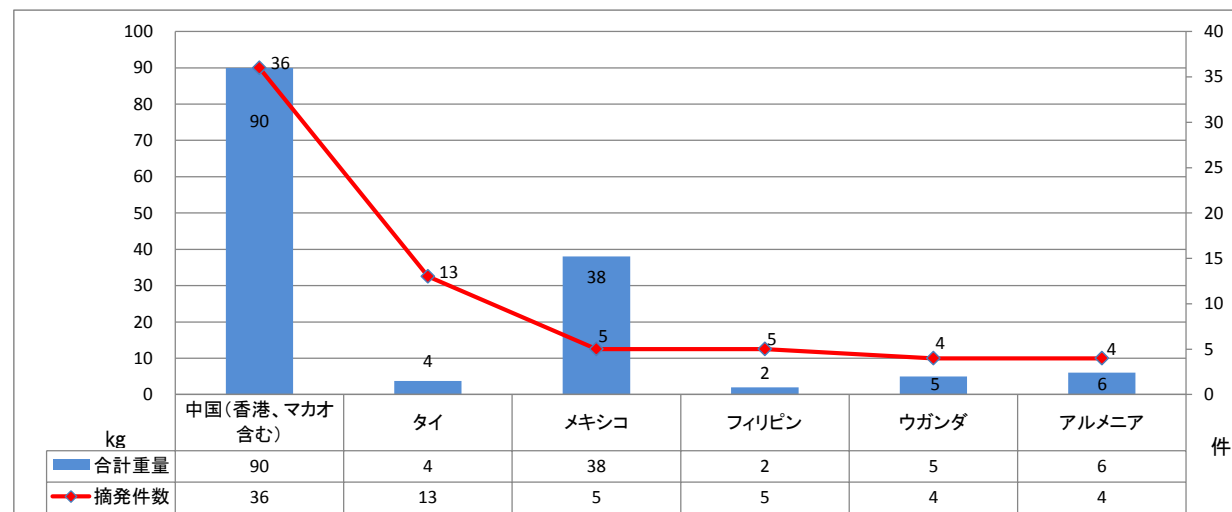


地域	国	件数	地域	国	件数
アジア (55)	中国	36	欧州	オランダ	1
	(香港)	(17)		イギリス	1
	(中国)	(14)		スイス	1
	(マカオ)	(5)	中南米 (6)	メキシコ	5
	タイ	13		グアテマラ	1
	フィリピン	5	アフリカ (5)	ウガンダ	4
	ベトナム	1		ケニア	1
欧州 (14)	アルメニア	4	北米(1)	アメリカ	1
	キプロス	3	中東(2)	トルコ	2
	スペイン	3	合計 83件		
	ドイツ	1			

●仕出地域(推移)

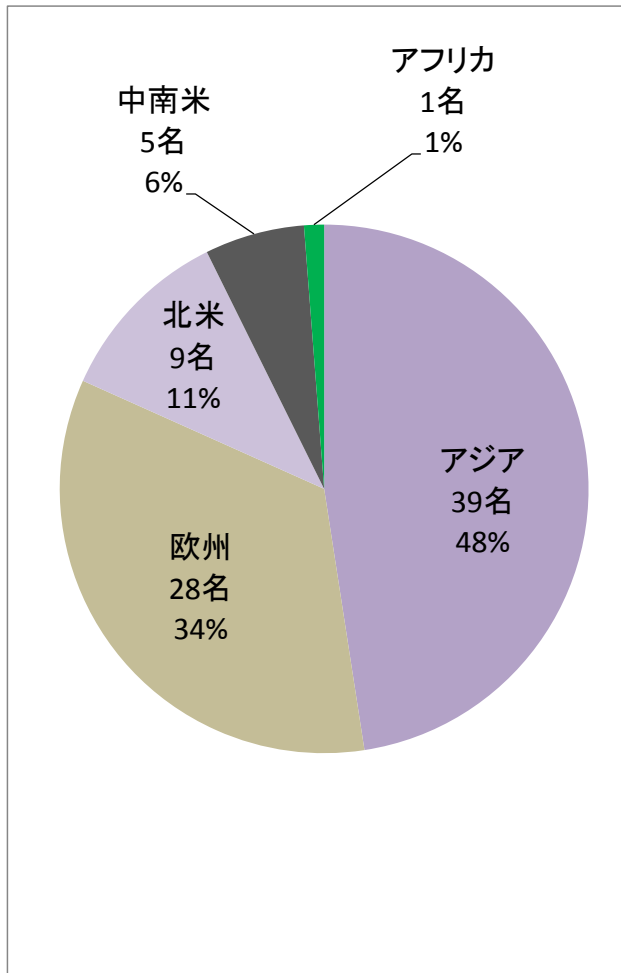


●仕出別押収重量(摘発件数上位)



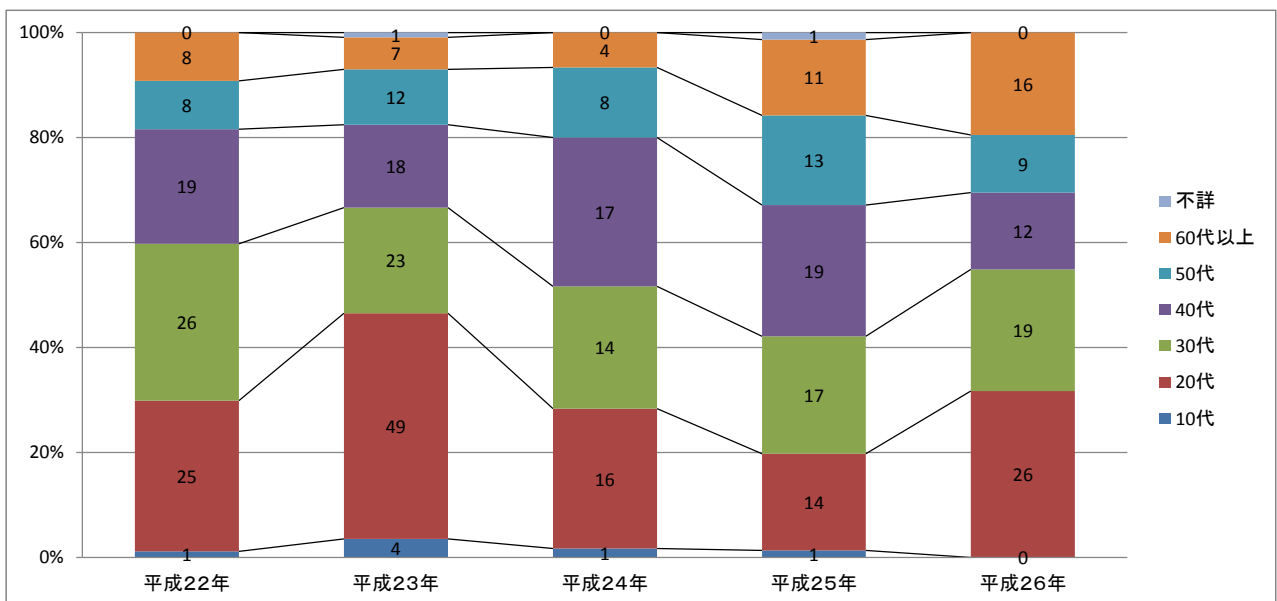
5. 平成26年覚醒剤密輸実行犯内訳【旅客】

●国籍別摘発状況

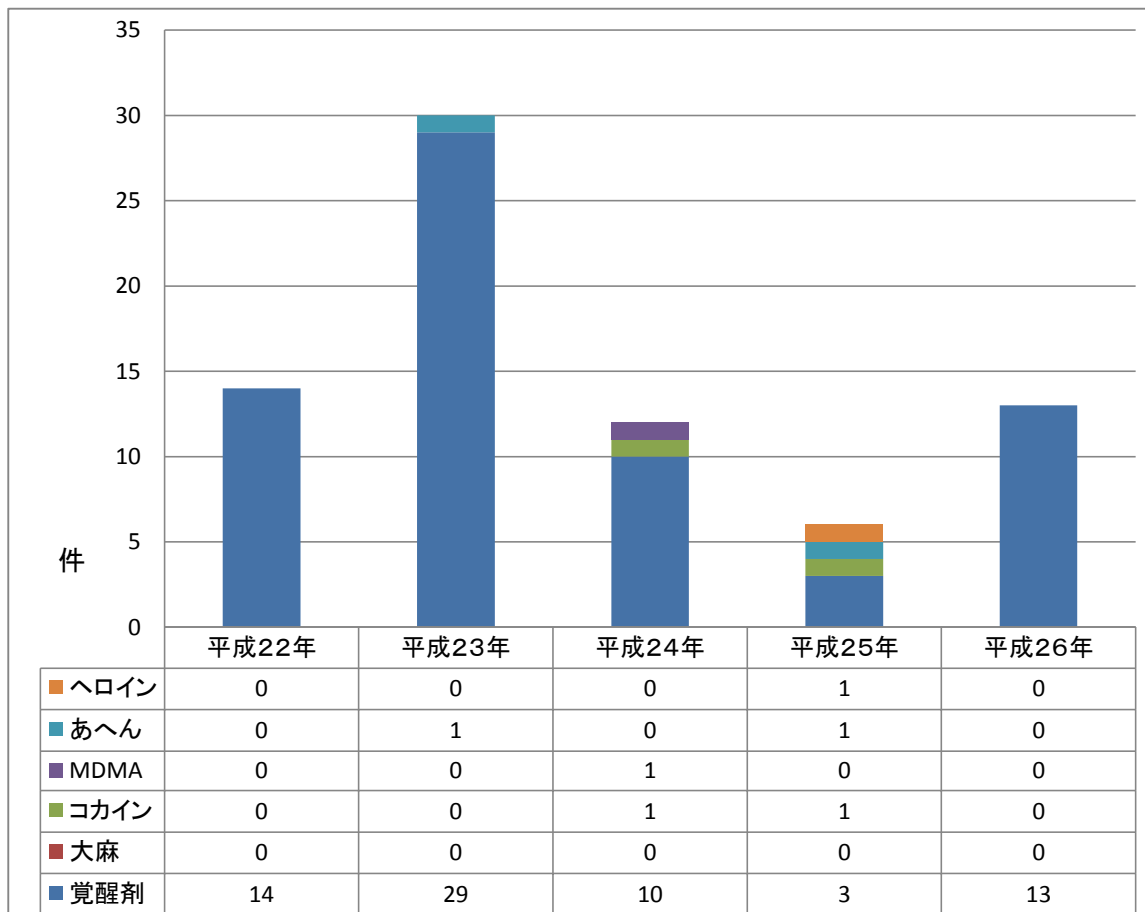


地域	国籍	人数	地域	国籍	人数
アジア (39名)	タイ	20	欧州	ルーマニア	2
	日本	5		リトアニア	1
	フィリピン	4		ベルギー	1
	香港	3		フランス	1
	マレーシア	3		スペイン	1
	韓国	2		オランダ	1
	台湾	1		エストニア	1
	シンガポール	1		デンマーク	1
欧州 (28名)	イギリス	7	北米 (9名)	アメリカ	6
	ドイツ	3		カナダ	3
	チェコ	3	中南米 (5名)	メキシコ	4
	ポルトガル	2		グアテマラ	1
	スロバキア	2	アフリカ (1名)	チュニジア	1
	スウェーデン	2	合計 82名		

●年代別摘発状況



6. 体内(嚥下・体腔内)隠匿摘発件数



注1) 平成22年「覚醒剤」14件のうち1件は「コカイン」「ヘロイン」も併せて嚥下隠匿

注2) 平成25年「コカイン」1件は「大麻樹脂」も併せて嚥下隠匿

「覚醒剤」3件はいずれも体腔内隠匿

注3) 平成26年「覚醒剤」13件の内7件は体腔内隠匿

平成26年隠匿手口事例

【事例1】ビデオレコーダー内に隠匿した覚醒剤密輸入事件

7月、中国香港から到着したフランス人男性が所持していたビデオレコーダーに隠匿されていた覚醒剤約2キロを摘発。



【事例2】炊飯器内に隠匿した覚醒剤密輸入事件

10月、中国香港から到着したカナダ人男性が所持していた炊飯器に隠匿されていた覚醒剤約4キロを摘発。



【事例3】 体内隠匿による覚醒剤密輸入事件

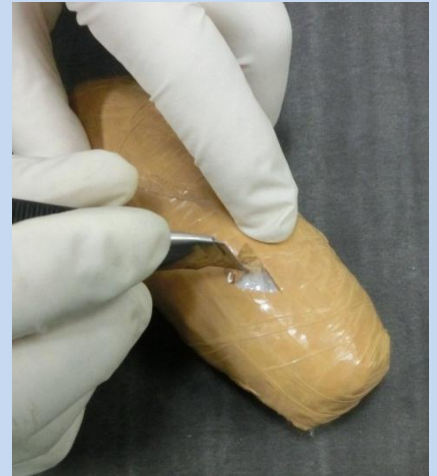
9月、フィリピンから到着したフィリピン人男性3人が自身の体内に隠匿していた覚醒剤合計約165グラムを摘発。



11月、グアテマラから到着したグアテマラ人男性が自身の体内に隠匿していた覚醒剤約500グラムを摘発。

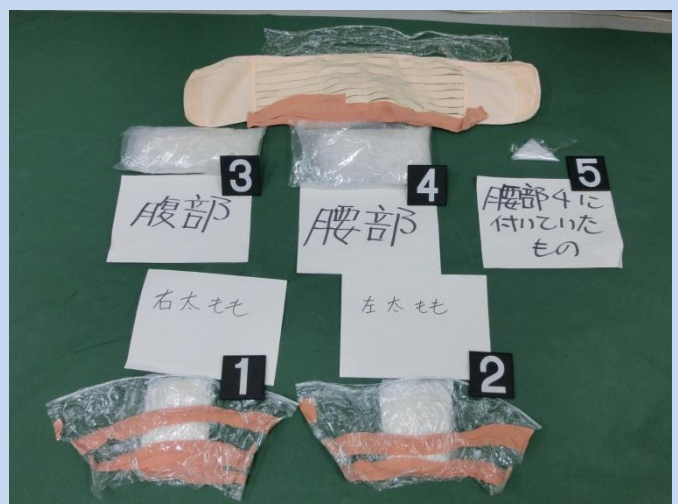


11月、タイから到着したタイ人女性が自身の体内に隠匿していた覚醒剤約200グラムを摘発。



【事例4】 身辺隠匿による覚醒剤密輸入事件

9月、香港から到着した香港人男性が自身の腹部、腰部及び大腿部に巻きつけて隠匿していた覚醒剤約1.5キロを摘発。



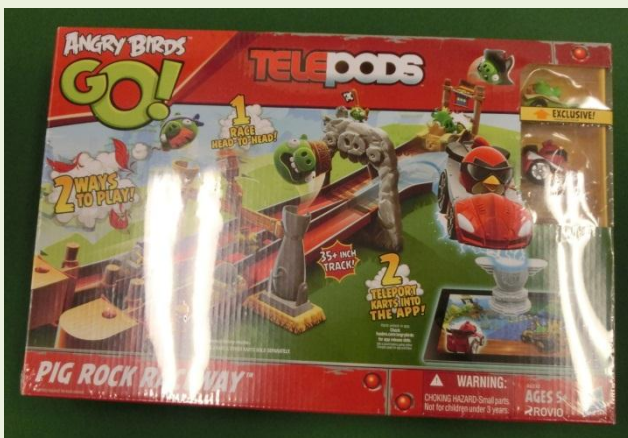
【事例5】 リュックサック内に隠匿した覚醒剤密輸入事件

7月、中国から到着した日本人男性が所持していたリュックサックに隠匿されていた覚醒剤約15キロを摘発。



【事例6】 玩具箱内に隠匿した大麻草密輸入事件

2月、米国から到着した日本人男性が所持していた玩具の箱に隠匿されていた大麻草約15キロを摘発。



【事例7】 航空貨物による覚醒剤密輸入事件

3月、メキシコから到着した航空貨物のパイナップル缶詰内に隠匿されていた覚醒剤約30キロを摘発。



【事例8】 航空貨物による大麻樹脂密輸入事件

2月、インドから到着した航空小口急送貨物の経典様のものに隠匿されていた大麻樹脂約6キロを摘発。

